



議会だより

Vol. 143

伊那市議会事務局

TEL 0265-96-8149

FAX 0265-76-9117

E-mail gkj@inacity.jp

伊那市議会9月定例会では30議案と請願・陳情2件、議員提出議案1件が提案され審議を行いました。今定例会に上程された議案と請願・陳情を紹介します。

全会一致で可決した議案など

(一般案件)

- ◆市道路線の認定(大芝19号線の認定について可決しました。)
- ◆市道路線の変更及び認定(前坂線、東原1号線の変更、東原33号線、東原34号線の認定について可決しました。)
- ◆市道路線の変更(春日町2号線の変更について可決しました。)
- ◆請負契約の締結(美すずスポーツ公園運動場改修工事の請負契約の締結について可決しました。)
- ◆財産(土地)の処分(伊那インター工業団地のD区画の売却について可決しました。)

(規約案件)

- ◆長野県後期高齢者医療広域連合規約の変更(被保険者証の廃止に伴う長野県後期高齢者医療広域連合規約の変更について可決しました。)

(条例案件)

- ◆組織条例等の一部改正(令和7年4月1日付けで組織機構を改編する条例改正について可決しました。)
- ◆行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部改正(法律改正に対応する文言の整理等を行う条例改正について可決しました。)
- ◆地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の一部改正(職員の配置基準に係る条例改正について可決しました。)
- ◆福祉医療費給付金条例の一部改正(政令改正に伴う文言の整理を行う条例改正について可決しました。)
- ◆国民健康保険条例の一部改正(被保険者証の廃止に伴う条例改正について可決しました。)

(令和5年度決算認定案件)

- ◆一般会計、特別会計9会計、企業会計3会計

(令和5年度の各会計決算について、決算特別委員会(議長を除く全議員が参加)を設置して審査を行い、認定・可決しました。)

(令和6年度補正予算案件)

- ◆一般会計、特別会計2会計、企業会計3会計

(物価高騰の影響を受ける低所得の高齢者や子育て世帯への支援のほか、農家、児童福祉施設への支援、新型コロナウイルスワクチンの定期接種などに対する補正予算計6件を可決しました。)

(議員提出議案)

- ◆松くい虫対策事業の予算確保を求める要望書の提出

(長野県に対する松くい虫対策に係る事業の予算の十分な確保についての要望書の提出について可決しました。)

賛否の分かれた議案など

■請願・陳情について 賛成…○、反対…×、趣旨採択…☆

(原則として議長は採決に加わりません。)

区分	件名	委員会結果	池上謙	伊藤のり子	唐木拓	小池隆	篠塚みどり	高橋姿	高橋明星	三石佳代	湯澤武	吉田浩之	小林眞由美	原一馬	三澤俊明	宮原英幸	白鳥敏明	二瓶裕史	野口輝雄	唐澤千明	飯島光豊	柳川広美	田畑正敏(議長)	本会議結果
陳情	◆政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書 (陳情者:長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林吟子 氏)	趣旨採択	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	○	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	○	○	—	趣旨採択
	◆「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情書 (陳情者:長野県保険医協会 会長 宮沢 裕夫 氏)	趣旨採択	☆	☆	☆	○	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	○	○	—	趣旨採択

9月伊那市議会定例会

一般質問から

令和6年9月伊那市議会定例会の一般質問は、9月9日、10日、11日の3日間に行われ、17人の議員が質問に立ちました。質問と答弁の主な内容をお知らせします。



こいけ たかし
小池 隆



市民に寄り添った 防災・減災対策について

問 小池隆議員 ペットの同行避難に関するガイドラインの策定を。

答 市長 長野県動物愛護会、伊那保健所などと研修を重ね、策定を検討していく。

問 小池隆議員 ペットの同行避難所の開設準備を。

答 市長 長野県動物愛護会などの関係者と協議し、具体的に検討していく。

問 小池隆議員 夜間災害時、避難場所への誘導の目印として、ソーラー式青色防犯灯の

設置を提案する。

答 市長 県内他市の状況を見ながら慎重に検討していきたい。

問 小池隆議員 宅地化が進み、豪雨時の排水機能を担う竜東地区の農業用水路の改修については、防災対策事業として整備してみても、また、地元負担の軽減を要望する。

答 市長 有利な起債を活用するなど地元負担の軽減を現在検討している。大規模改修は、補助制度の研究とともに、国県への要望を検討していく。

企業誘致がもたらす 地域の活性化について

問 小池隆議員 誘致企業の工場建設に、設計、工事、資材の調達など、市内業者を利用する対策を。

答 市長 今後も引き続き企業訪問などの機会で、市内業者の利用を促していく。

問 小池隆議員 新たな雇用には、できる限り市民の採用を願う。雇用促進事業補助金の実績と見直すべき点は。

答 市長 近年、補助金交付実績がないことから、補助対象となる採用人数などについて検討する。



のぐち てるお
野口 輝雄



発達障害児が増え続けている中で、市の教育支援の現状と今後について

問 野口輝雄議員 全国的に発達障害児が増え、それに付随して特別支援学級の子どもたちも増えている。伊那市の教育支援の現状と今後の支援の在り方について、①発達相談員など相談スタッフを増やす必要があるのでは。②発達障害児ではないのに発達障害児と見なされている子の発見と指導をしてほしい。③教育支援相談の時期を小2から小3

くらいまで遅らせたらどうか。

答 教育長 ①現状では現職員数で丁寧な対応ができていないが、組織改編の中で職員の充実を図る。②議員ご指摘のような子どもがいることは承知している。保健福祉教育の各機関が連携して必要な支援を行っている。③全て就学前に行うわけではなく、本人の成長に合わせて就学後にも実施している。学びの場の見直しは更に丁寧にしていく。

上伊那教員バンクの設立と市内の全小中学校に理科専科教員を配置することについて

問 野口輝雄議員 上伊那の広域で教員バンクを設立することによって、人員を確保し、伊那市全小中学校に理科専科教員を配属したらどうか。

答 市長 理科教育の重要性は承知している。実現できるように努力したい。

問 教育長 来年度の予算編成の中で検討していきたい。



たかはし めいせい
高橋 明星



市内小学校の通知表の在り方についての提案

問 高橋明星議員 通知表は、子どもにとって学習進度や理解度が違う中で一時的な評価をされてしまうなどのデメリットがある。通知表の意義やフィードバックの在り方を見直してみてもどうか。

答 教育長 通知表の在り方については、学校内だけではなく保護者、児童生徒の意見も得ながら教育の本質を見失うことなく、あり様を探っていくことが必要。

自由進度学習の取入れについて

問 高橋明星議員 自由進度学習について、これからの方向性は。

答 教育長 一斉学習や自由進度学習といった二択ではなく、両方の良さの活用や他の学びを取り入れたスタイルが生まれることが必要。新たな学習システムを構築するために各校に

において検討し実践できるよう
助力していく。

伊那北駅舎建設費の 広域負担について

問 高橋明星議員 駅舎建設
費用については、相応額を
上伊那郡内の市町村にも負担し
てもらえないか。

答 市長 国県の有利な財源
を充てるなどして工夫して
取り組む考えで進めている。広域
的な負担を求める考えはない。



のづか
篠塚 みどり



母子手帳デジタル化について

問 篠塚みどり議員 母子手
帳アプリの導入は。

答 市長 令和7年度の導入
を目指す。

入学祝い金について

問 篠塚みどり議員 小学
校、中学校、高校入学を迎
える子どもたちへの入学祝い金の
導入は。

答 市長 低所得など支援が
必要な家庭に就学援助を
行っている。9月補正で高校生年
代を含む児童1人当たり1万円
の臨時特別給付金の支給を予定
している。一体的な子育て支援の
中で検討する。

水道管の耐久工事について

問 篠塚みどり議員 国から
の耐震化緊急点検を受
け、水道管の老朽対策は。

答 市長 今年度、人工衛星
を使った漏水解析業務を
行い、市内全域の給水管を含む
水道管約1500kmを対象に漏
水状況の解析調査を行った。
364か所で漏水が疑われる場
所が見つかり、場所を絞り込む2
次調査を行っている。

「マイナンバーカード」 「マイナ保険証」の普及 と利用促進について

問 篠塚みどり議員 「マイ
ナンバーカード」「マイナ保
険証」の普及と利用促進に関し
ての見解は。

答 市長 利便性、安全性の
理解向上のため10月に
ガイドブックを全戸配布予定。
また、マイナンバーカードを使った

「書かない窓口」のため10月に
機械導入を予定。「マイナ保険証」
の利用方法やメリットを、市の
広報番組など活用して積極的に
発信していく。



ゆざわ たけし
湯澤 武



伊那市の小規模事業所 支援について

問 湯澤武議員 深刻化する
小規模事業所の人手不足
対策は。

答 市長 関係団体との
「SDGs推進プロジェクト」で省力化の推進、外国人材への
日本語教室の充実、事業継承では
推進員の訪問支援などを進める。

「総合こども支援センター」と 「こども部」の機能について

問 湯澤武議員 こども部の
機能強化を。

答 市長 提案の「総合こど
も支援センター」機能を有
した組織となるよう教育と福祉
が連携し、細やかに実効性、便利

性を高める。

带状疱疹の予防ワクチン 接種補助事業実施について

問 湯澤武議員 今こそ、帯状
疱疹予防ワクチン接種補
助事業の実施を。

答 市長 補助を希望する声
が届いている。早期発見・
治療の重要性を周知し、予算化
に向けては国の議論や近隣市町
村の状況により検討する。

市役所窓口への軟骨伝導 イヤホンの導入について

問 湯澤武議員 窓口に意志
疎通がしやすい「軟骨伝導
イヤホン」の導入を。

答 市長 機器の特性などを研
究し、導入に向け検討する。



いけがみ けん
池上 謙



国土交通省の天竜川水系河川
整備計画の発表を踏まえた、
三峰川総合開発事業対策協
議会などの今後の更なる要望
活動の強化について

問 池上謙議員 河川整備計
画原案がパブリックコメン
トなどの聴取を経て決定され
たが、「戸草ダムの建設」の文言は明
記されることは無かった。市長は、
今後どのように対応していくか。

答 市長 国交省の令和7年
度概算要求では、天竜川
上流部において「治水機能増強
検討調査の実施」と記載された。
戸草ダムの必要性が早期に示さ
れるよう、今後引き続き県や
流域市町村と連携して国に強く
要望をしていく。

仙流荘周辺「南アルプス長谷戸台 パーク」整備に係る登山者など 利用客の動向の変化について

問 池上謙議員 戸台パーク
は、南アルプス登山口の
拠点として整備が進み、本年度
からは分杭峠「気の里ライン」と
しても発着点となった。訪問客の
流れが一変したが、その動向は。

答 長谷総合支所長 市営林
道バス「南アルプススケー
ンライン」の利用者は、天候及び
南海トラフ地震臨時情報発令の
影響もあったが、前年同期に比べ
て概ね順調。「分杭峠気の里ライ
ン」の利用者は、テレビ紹介での

変動や運賃などの増額もあり
前年同期に比べ減少している。
仙流荘は分杭峠利用者の影響も
あり、宿泊者及び入浴者数も
大幅な増加となっている。今後も
更に情報発信に努めていきたい。



原 一馬



都市計画税の公平性と課税している用途地域の農業用水路について

問 原一馬議員 一部の地域への課税に対する公平性は。

答 市長 合併協議や事業の必要性から公平性はある。

問 原一馬議員 水路改修など、農地でも課税している

地域の整備について。

答 市長 道路に沿った水路の改修は建設部、その他は

農林部が対応する。大規模な改修も必要となるので、補助制度の研究とともに国県への要望を検討していく。

現在工事が止まっている伊那バイパスの早期開通を

問 原一馬議員 今後の見通しについて。

答 市長 伊那バイパスの雨水排水対策を地元へ説明し、承諾が得られれば、前原から上の原の工区の工事を進める予定。

産業用地取得5ha目安の見直しについて

問 原一馬議員 産業立地事業の成果、用地取得目安の見直しは。

答 市長 伊那インター工業団地は、JR東海の負担によるリニア工事発生土など50万㎡を受け入れ造成、完売している。誘致した40の企業の固定資産税、法人税など納税累計は53億円、設備投資額累計397億円。東原工業団地は、着工前の区画も全て予約済みとなり、売地がない状態。企業用地の大規模化や迅速な用地提供の要請に対応するため、土地取得基金とともに見直しが必要。



宮原 英幸



災害時の法的対応の課題について

問 宮原英幸議員 被災者への、特に被災後の法的支援体制はどうか。

答 市長 県弁護士会と災害時応援協定を結んでおり、無料相談などを行う。災害時応援協定締結団体などと打ち合わせを行い、ワンストップ窓口充実を目指している。掌握した個別ニーズから被災者台帳を作成、多職種と連携し、適切な支援を継続的に行う体制を構築したい。税の減免などの支援情報は行政側から手を伸ばし、提供を進める。

伊那市景観計画に関する屋外広告物条例について

問 宮原英幸議員 景観計画や市内景観形成住民協定は10年以上が経過し、見直しが必要ではないか。また、これまでに罰則の適用はあるか。

答 市長 これまでに罰則適用案件はない。景観形成は息の長い取り組みであり、見直しは考えていない。良好な景観に対する啓発を進めながら、景観協議会などと課題を検討していく。

高齢者等暮らしいきいき応援券について

問 宮原英幸議員 配布までの空白期間の縮小はできないか。

答 市長 要件では4月1日を基準としているが、慎重な確認と作業効率も研究し、1日でも早く届けられるよう工夫を重ねていく。



吉田 浩之



保育園運営について

問 吉田浩之議員 園児数に対する正規の保育士の割合はどれくらいか。

答 市長 保育士1人当たり14.6人、19市中17位である。吉田浩之議員 正規保育士の採用状況はどのよう

になっているか。また採用のためにどう工夫しているか。

答 市長 退職者数を上回る採用を予定している。保育士養成学校への訪問や、対面やオンラインでの個別ガイダンスなどを行っている。

問 吉田浩之議員 8園で実施している土曜保育は、利用者数が少ない園の見直しをしたらどうか。

答 市長 子ども・子育て審議会での意見を聞き、見直しの検討をしていきたい。

問 吉田浩之議員 少子化が進む中、公立保育園の配置について見直しが必要ではないか。

答 市長 庁内検討組織を立ち上げ、入園児童数の動向や地域の特性など多角的に研究し、課題を整理した上で、総合的に判断していきたい。

問 吉田浩之議員 「こども誰でも通園制度」の取組みと課題は何か。

答 市長 実施に向け、研究の段階。実施には新たに保育士6名が必要になる。私立保育園の意向も確認しながら進めていく。

問 吉田浩之議員 山寺区、御園区には民間の施設が

いくつもあるため、竜北保育園を廃止し、小鳩園を新たに整備したかどうか。

答 市長 市内保育園の配置の見直しの中で、民間保育施設とのバランスや施設の老朽化などの状況を踏まえ、竜北保育園や小鳩園の在り方を検討していく。



からき たく
唐木 拓



再配達削減の推進について

問 唐木拓議員 宅配における再配達問題が深刻化している中、インターネット商店が普及し、宅配サービスの需要が増加している。再配達を最小限にすることで、ドライバーの負担軽減、配送車両の走行距離の縮減、温室効果ガスの排出量削減が期待できる。宅配ボックスは再配達削減に有効であるが、導入に向けて市で補助は検討しているか。

答 市長 再配達の削減について啓発していくが、良い財源があれば、宅配ボックスなどの導入に対する補助についても検討したい。

フリーアドレスの導入について

問 唐木拓議員 職員が自由に空いている場所で仕事ができるれば、異なる部署間のコラボレーションや様々な効率化につながる。一旦仕組みができれば、自宅などどこにいても仕事ができる環境になる。フリーアドレス化することによりDX化につながり、職員の働き方の向上にもつながる。伊那市の今後の取組みはどうか。

答 市長 一気に難しいが、できるところからフリーアドレスの導入を目指してDX化を推進していきたい。



にへい ひろし
二瓶 裕史



戦後80年を機に平和行政・平和教育の充実を

問 二瓶裕史議員 ①時の経過により、戦争や被爆の実相を継承することが困難になりつつある。体験談などお話をいただける人材のデータベースはあるか。②「語り部」の養成も必要だと考えるが、育成事業を実施しては。③戦後80年に向けて何か考えは。④多くの資料を常設的に展示する平和祈念館の設置を。

答 市長 ①戦争体験を話していたり、市で持っている情報を整理して管理していく。②考えてはいないが、これまでの資料などにより後世に伝えていく。③節目に合わせた展示を予定している。④既存施設の活用で十分可能。今後も啓発活動や民間事業への支援を行う。

部活動の在り方と地域移行について

問 二瓶裕史議員 ①伊那市の部活動地域移行の現状は。②地域クラブへの運営支援などの方針は。③指導者の確保についてどう考えるか。

答 教育長 ①コーディネーターを1名配置し、推進体制の整備、ガイドラインの作成など行っており、10月には協議会を設立する。現状で移行した部活はない。②現在、検討の段階であり方針の決定には至っていない。③資質の担保がないことが課題。報酬によっては、質の高い人材の確保は困難。県のリストを活用していきたい。



みついし かよ
三石 佳代



「みはらしの湯」経営基本方針について

問 三石佳代議員 経営支援に多額の税金が充てられていることを理由に「みはらしの湯」の閉鎖を求める意見があった。伊那市観光株式会社第23期決算報告によると、市内入浴施設への伊那市からの経営支援は3930万円となっている。赤字が続いた場合には、閉鎖の可能性はあるか。

答 市長 福利厚生のために必要な施設であり、閉鎖は考えていない。

問 三石佳代議員 現在の入浴料では黒字は見込めないが、福利厚生のために値上げせず赤字経営でも良いという認識か。

答 市長 福利厚生のために値上げせず、600円を維持していく。サービスを大切にしながら、経費の削減に努めていきたい。

「みはらしの湯」経営基盤強化対策、景品が当たる「抽選番号付き入浴券」の販売について

問 三石佳代議員 福利厚生重視と営利重視の施設を区別し、事業全体で黒字を目指す方針が必要。「みはらしの湯」は観光レジャー要素のある立地であるので、営利を重視し黒字化が見込める料金に改定するとともに、集客力を高めるために景品が当たる「抽選番号付き入浴券」にして販売したらどうか。

答 市長 面白いと思うが、福利厚生施設のため、値上げはしない。山小屋の経営などを含め、事業全体として健全経営を図っていく。



たかはし すがた
高橋 姿



障害者福祉と高齢者福祉の共生

問 高橋姿議員 伊那市社協ではデイサービス3事業所の介護保険サービスや運営する

障害福祉サービス事業で、費用面など運営状況が厳しい。財政援助団体等監査でも業務改善が指摘されているが、今後、共生型サービスなどを検討することにより、サービスの質と収支の改善が可能では。

答 市長 各事業所とも施設の老朽化に伴う整備等の修繕や燃料費の高騰など維持管理に多くの費用がかかり、利用者も減少している状況。デイサービス事業検討チームを設置し、事業の統合や廃止も含めた検討を行っている。

事例に基づく自治会の見直し

問 高橋姿議員 西箕輪吹上区で班編成、役員数減などの見直しを行った。自治会改革事例を共有し、行政から会議費を出すなどの協力は可能か。

答 市長 引き続き区長会などでの情報共有を行っている。協働のまちづくり交付金を会議費に活用することは可能。

新設こども部×いじめ・不登校・学童保育

問 高橋姿議員 寝屋川市の監察課のような市長部局と教育委員会の両面からいじめ

と不登校などの対策は可能か。

答 教育長 学校からの調査を基に教育委員会が担当する。今年度から、弁護士からの法的アドバイスや支援体制の整備を行う。



サイクリングによる観光推進について

問 唐澤千明議員 長野伊那谷観光局では、観光による地域づくりの一環として自転車を活用したサイクルツーリズムを推進しており、二つに高遠城下町巡りライドがあり動画を制作している。観光局や県観光部との連携は重要だが考えを。

答 市長 推奨コース作成のための試走やマップ作成時の情報提供など、相互連携を行いながら、サイクリング推奨に努めている。

問 唐澤千明議員 Bステレ東の「いいね!ジャパン」361サイクル街道の番組で、伊那市と木曽町、岐阜県高山市

を結ぶ国道361号を自転車走りながら景色や石仏、グルメを楽しむ場面が放送された。高山市からの集客について考えを。

答 市長 このルートには、361の麵街道、そして高遠石工の石仏がルート上にある。高山市や木曽町とも10数年前から連携する中で、このルートを自転車のメッカにしていきたい。

道路側溝の雨水排水から生じる災害について

問 唐澤千明議員 国道361号権兵衛トンネル手前の道路、駐車場の雨水排水処理がきちんとできていないため災害が発生した。県に対策を。

答 建設部長 災害防止の観点から、国道361号排水系統の検証、荒れた谷筋の整備、権兵衛街道線への土砂流出対策を県や南箕輪村に要望していく。



冷田川や竜東土地改良区合同排水路の改修について



問 柳川広美議員 冷田川や合同排水路は傷んでいる。フェンスも。調査をして計画的に改修を。三峰川堤防沿いの合同排水路は早期に改修を。ダンプの通行を減らせないか。

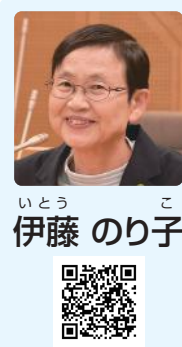
答 市長 土地改良区と地域の要望は、地元負担を考慮し、有利な起債などの活用も検討し、改修計画などは土地改良区と相談し進めたい。フェンスは地元と相談し補修する。ダンプ道路は、砂利採取業者と運行台数を減らせるか相談する。

東部中学校のプール改修について

問 柳川広美議員 東部中の壊れたプールはいづかに整備するの。夏の暑さ対策が必要では。

答 教育長 破損したプールを撤去し、新たなものを設置する。今後、学校と相談しながら

ら規模や設備を検討する。来年度に実施設計、翌年改修工事、翌々年から利用開始の予定。暑さ対策は、日除け設置やプールサイドの床に遮熱性の高いものを使用するなど熱中症対策に配慮する。



带状疱疹ワクチン接種に補助金制度導入を

問 伊藤のり子議員 带状疱疹は、ワクチン接種によつて発症率の低下や重症化の予防、带状疱疹後神経痛の予防が期待できる。厚生労働省の専門委員会は、带状疱疹ワクチンの定期接種が科学的に妥当と判断したが、実施には2年程かかると思われる。①带状疱疹ワクチンの接種を市として推奨する考えはあるか。②高額な接種費用が接種率の低下につながっている可能性についてどのように考えるか。③市として補助制度を導入する考えはあるか。

るのか。夏の暑さ対策が必要では。



答 市長 ①任意接種であり、積極的な勧奨は行わない。②接種費用と接種率の関係は把握していない。③国の議論や近隣市町村の状況により検討する。

高遠城址公園周辺の環境整備を

問 伊藤のり子議員 高遠城址公園の周辺、例えば、桜の小径やお堀の周り、遊歩道など観光客が訪れる場所にももう少し配慮をお願いしたい。①「桜小径歩道橋」の修繕を検討いただけませんか。②年間を通じて高遠城址公園周辺の環境整備に配慮していただけないか。

答 市長 ①修繕は、管理をしている伊那建設事務所に依頼していく。②市も作業を行うが、場所によっては伊那建設事務所にも声を掛けながら進めていく。



いいじま みつとよ
飯島 光豊



予防接種費用補助制度の創設について

問 飯島光豊議員 令和7年度予算から带状疱疹ワクチンとおたふくかぜワクチンの接種費用補助を。

答 市長 国の議論や近隣市町村の状況により検討する。

問 飯島光豊議員 带状疱疹ワクチンの接種補助700万円の試算根拠は。

答 保健福祉部長 対象年齢50歳以上の市民34000人を対象に、先行市の補助額、接種率を参考に見込んでいます。

保険証廃止に伴う「アンケート」結果について

問 飯島光豊議員 今でもマイナ保険証利用率が低く、「現行保険証を残して」という声が8割に及ぶと考えは。

答 市長 国の方針により実施していきたい。

問 飯島光豊議員 マイナ保険証の登録も解除も個人の自由。慌てて登録する必要もないが市の対応は。

答 保健福祉部長 マイナ保険証を持たない市民には、12月2日以降は現行保険証と同様の取扱いができる資格確認書を発行する。

問 飯島光豊議員 マイナ保険証の登録解除は、いつでも対応するか。

答 保健福祉部長 10月末にシステム改修の予定で、国民健康保険と後期高齢者医療保険の解除は市窓口で対応する。

問 飯島光豊議員 県内の高齢者や障がい者施設の70%はマイナ保険証の管理ができていないが、上伊那福祉協会の施設はどうか。

答 保健福祉部長 上伊那福祉協会の各施設では、マイナ保険証の代わりに資格確認書を活用すると聞いている。

お知らせ

請願・陳情

請願・陳情は、原則として定例会開会前に開催される議会運営委員会の前日正午までに提出されたものを、その定例会で審査します。

ご提出いただきました請願・陳情は、定例会本会議で委員会へ付託され、審査を行います。本会議での委員長報告後、採決します。

次回12月定例会審査の受理期限は、11月21日正午です。(期限は、変更となる場合もあります。議会事務局へご確認の上ご提出ください。)

傍聴にお越しく下さい

市議会には、どなたでもお気軽に傍聴することができます。ぜひお越しください。

過去の議案などについて

過去の議案、議会中継映像などについては、市議会ホームページに掲載してありますので、ぜひご覧ください。

QRコードについて

議員の写真下にあるQRコードを読み取ると、一般質問の動画が閲覧できます。ご利用ください。

*「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。



伊那市議会
ホームページ
はこちら

フェイスブック、 Instagramについて

伊那市議会では、議会の公式行事など様々な情報を発信するため、フェイスブック、Instagramの運用をしています。



伊那市議会公式
フェイスブック
はこちら



伊那市議会公式
Instagram
はこちら

第8回 市民と議会との意見交換会を開催しました

伊那市議会は、市民の皆さまに開かれた議会を目指して活動しています。

今年の「市民と議会との意見交換会」は市内6会場で開催し、多くの方にご参加いただきました。

各会場ごとにテーマを設け、皆さまの貴重なご意見をお聞きましたので、その一部を紹介します。



7月5日(金)10:00～ 社会委員会担当

会場 伊那公民館

認知症に関わる支援について

- 認知症後の生き方をみんなで考えたい。
- 医療機関や福祉施設、ケアマネ等の情報が不足していて誰に何を聞いたらよいかわからない。
- 治療方針や施設など認知症前の本人に意思確認が必要なことがある。
- 認知症になってからの活動の場が欲しい。
- 認知症サポーター連絡会、家族会など地域で支える活動の充実をして欲しい。
- 一人暮らしの方が増え、認知症になった場合の対応が課題として多くなっている。
- おのりな号の活用をして欲しい。
- 認知症でも地域で生活できるまちづくりをして欲しい。
- お年寄りが気軽に通う公民館などでの居場所が欲しい。



7月4日(木)19:00～ 総務文教委員会担当

会場 手良公民館(てらとぴあ)

人口減少に伴う新たな地域づくり

- ① 地域内の移動手段 ② 自治会(区)のありかた
- ③ 保育園、小学校、中学校の今後について

- 災害時の助け合いが必要。昼は高齢者が多く、一人暮らしの方も多い。
- 区費を減額しないと新しい人が区に加入しない。
- 高齢者が多く、若手は仕事関係などで区の行事に参加しにくく、区の役員のなり手がない。
- 未婚の人が多く、人口減少に繋がっている。
- 高齢者の買い物難民が多い。買い物代行や社協などに連絡を取り合ってボランティアを募り取り組んだらどうか。
- 今年中学校入学が26名、小学校入学は6名で20名も減っている。今後が心配。
- 高校生の送迎が大変。何とかならないか。
- 手良には歴史のある名所旧跡があるので活用すると良い。

7月9日(火)19:00～ 経済建設委員会担当

会場 いなっせ5階

伊那北駅周辺のまちづくりについて

- 伊那北駅周辺の整備が必要。
- ① 駅・駅前交差点への歩道橋設置。
- ② 駐停車スペース、駐輪場スペースの拡大が必要なため、駅前ロータリーの拡充整備。
- ③ 駅舎を機能的にして欲しい。
- ④ 踏切交差点付近の道幅が狭く渋滞するため、改良工事が必要。
- 伊那北駅周辺整備事業について正確な情報や計画、進捗状況について明確に示して欲しい。
- 若者も含め、世代を超えた意見交換ができていないのでは。意見を幅広く聞くことが必要ではないか。
- 空き店舗などを利用して、駅近辺に若者が集える場所を作ったらどうか。また、大学生や高校生が運営できるように活用して欲しい。
- 近隣学校の生徒数に見合った公共交通の充実が必要。

